



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ヨータイ 上場取引所 東
 コード番号 5357 URL <https://www.yotai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田口三男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役本社業務部長 (氏名) 竹林真一郎 (TEL) 072-430-2100
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,569	10.1	1,997	△6.8	2,037	△5.6	1,424	△11.6
2022年3月期第2四半期	12,325	10.1	2,143	68.9	2,158	62.1	1,611	78.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,528百万円(△9.8%) 2022年3月期第2四半期 1,694百万円(79.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	69.72	—
2022年3月期第2四半期	75.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	38,968	30,437	78.1
2022年3月期	38,750	30,109	77.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 30,437百万円 2022年3月期 30,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	27.00	43.00
2023年3月期	—	20.00			
2023年3月期(予想)			—	18.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	2.3	3,400	△16.9	3,500	△15.1	2,400	△19.1	116.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	25,587,421株	2022年3月期	25,587,421株
2023年3月期2Q	5,411,331株	2022年3月期	4,977,129株
2023年3月期2Q	20,434,697株	2022年3月期2Q	21,373,096株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による不況から脱出し、景気持ち直しの動きがみられたものの、ウクライナ情勢、日米の金利差を主要因とする円安進行など予断を許さない状況が続いております。製造業におきましては、原材料価格・輸送費などの高騰、サプライチェーンの混乱など先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、高い収益性を維持するために、お客様のニーズをとらえた新製品の開発及びWEB会議を利用しての国内外への積極的な営業展開、安全第一をモットーにした健康経営の推進、CO₂排出削減への取り組みを実施しつつ、一層の生産効率化等に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は135億69百万円と前年同四半期に比べ12億44百万円の増収となり、営業利益は19億97百万円と前年同四半期に比べ1億46百万円減少し、経常利益は20億37百万円と前年同四半期に比べ1億20百万円の減少となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、14億24百万円と前年同四半期に比べ1億86百万円の減少となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(耐火物等)

耐火物等事業につきましては、鉄鋼向けの需要が堅調に推移したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は111億12百万円となり、前年同四半期に比べ9億59百万円の増収、セグメント利益は原燃料価格の上昇及び円安の影響により25億9百万円となり、前年同四半期に比べ1億55百万円の減少となりました。

(エンジニアリング)

エンジニアリング事業につきましては、受注が増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は24億56百万円となり、前年同四半期に比べ2億84百万円の増収、セグメント利益は3億25百万円となり、前年同四半期に比べ72百万円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間の財政状態につきましては、原材料等を増やした結果、資産合計及び純資産合計は増加、負債合計は減少となりました。

それぞれの状況は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、389億68百万円であり、前連結会計年度に比べ2億17百万円増加しました。これは主として、現金及び預金の減少15億89百万円等があるものの、流動資産その他に含まれている預け金の増加8億25百万円、製品の増加6億91百万円、原材料及び貯蔵品の増加5億36百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、85億30百万円であり、前連結会計年度に比べ1億10百万円減少しました。これは主として、賞与引当金の増加3億95百万円、電子記録債務の増加3億46百万円等があるものの、流動負債その他に含まれている未払費用の減少3億69百万円、買掛金の減少3億45百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、304億37百万円であり、前連結会計年度に比べ3億27百万円増加しました。これは主として、自己株式の増加6億85百万円等があったものの、利益剰余金の増加8億68百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は78.1%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は69億48百万円となり、前第2四半期連結会計期間末より37億28百万円減少いたしました。これは、税金等調整前四半期純利益の獲得があったものの、棚卸資産の増加、有形固定資産の取得、自己株式の取得等があったことが主な要因であります。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は12億44百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比3億35百万円の減少)。これは主に、棚卸資産の増減額11億98百万円、法人税等の支払額6億34百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益20億37百万円、売上債権の増減額11億62百万円、減価償却費4億52百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べて獲得した資金の減少は、仕入債務及び売上債権の増減差が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は7億96百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比2億92百万円の増加)。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億53百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べて使用した資金の増加は、有形固定資産の取得による支出の増加が主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は21億14百万円となりました(前第2四半期連結累計期間比3億1百万円の増加)。これは主に、自己株式取得のための預託金の増減額8億25百万円、自己株式の取得による支出7億13百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べて使用した資金の増加は、配当金の支払額の増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,537,563	6,948,096
受取手形、売掛金及び契約資産	9,851,329	9,791,520
電子記録債権	2,554,830	1,978,017
製品	3,960,175	4,651,684
仕掛品	280,783	299,478
原材料及び貯蔵品	4,772,665	5,309,381
その他	327,940	954,316
貸倒引当金	△2,894	△4,824
流動資産合計	30,282,393	29,927,671
固定資産		
有形固定資産	5,838,968	6,302,684
無形固定資産	71,284	132,784
投資その他の資産		
投資有価証券	2,279,417	2,187,989
その他	295,357	436,988
貸倒引当金	△16,986	△19,989
投資その他の資産合計	2,557,789	2,604,988
固定資産合計	8,468,042	9,040,458
資産合計	38,750,436	38,968,129

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,387,340	2,042,219
電子記録債務	2,104,994	2,451,862
未払法人税等	724,299	696,881
賞与引当金	—	395,155
役員賞与引当金	35,600	19,020
その他	1,983,827	1,334,226
流動負債合計	7,236,062	6,939,364
固定負債		
退職給付に係る負債	1,381,292	1,377,413
その他	23,580	213,871
固定負債合計	1,404,872	1,591,284
負債合計	8,640,935	8,530,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,762,031	1,803,525
利益剰余金	26,994,021	27,862,181
自己株式	△2,319,009	△3,004,267
株主資本合計	29,091,563	29,315,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	757,432	688,313
繰延ヘッジ損益	468	△48
為替換算調整勘定	285,705	453,052
退職給付に係る調整累計額	△25,668	△19,797
その他の包括利益累計額合計	1,017,937	1,121,519
純資産合計	30,109,501	30,437,480
負債純資産合計	38,750,436	38,968,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	12,325,314	13,569,672
売上原価	9,048,082	10,383,091
売上総利益	3,277,231	3,186,581
販売費及び一般管理費	1,133,386	1,189,023
営業利益	2,143,845	1,997,558
営業外収益		
受取利息	3,472	4,740
受取配当金	36,897	50,680
不動産賃貸料	10,062	9,104
その他	15,716	9,195
営業外収益合計	66,148	73,721
営業外費用		
支払利息	236	140
自己株式取得費用	8,841	4,256
為替差損	705	1,174
固定資産除却損	38,364	20,829
その他	3,673	6,981
営業外費用合計	51,821	33,381
経常利益	2,158,172	2,037,898
税金等調整前四半期純利益	2,158,172	2,037,898
法人税、住民税及び事業税	586,481	649,753
法人税等調整額	△39,535	△36,493
法人税等合計	546,945	613,260
四半期純利益	1,611,227	1,424,638
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,611,227	1,424,638

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	1,611,227	1,424,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,402	△69,119
繰延ヘッジ損益	443	△516
為替換算調整勘定	63,999	167,347
退職給付に係る調整額	8,020	5,871
その他の包括利益合計	82,866	103,582
四半期包括利益	1,694,093	1,528,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,694,093	1,528,220
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,158,172	2,037,898
減価償却費	398,630	452,905
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,852	2,771
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,428	△3,879
賞与引当金の増減額(△は減少)	367,030	395,155
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,872	△16,580
受取利息及び受取配当金	△40,369	△55,421
支払利息	236	140
売上債権の増減額(△は増加)	△129,606	1,162,864
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,265,131	△1,198,205
仕入債務の増減額(△は減少)	998,812	△467,628
その他	△545,498	△486,284
小計	1,931,979	1,823,735
利息及び配当金の受取額	40,369	55,421
利息の支払額	△236	△140
法人税等の支払額	△391,910	△634,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,580,202	1,244,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△466,205	△753,763
有形固定資産の売却による収入	5,745	—
無形固定資産の取得による支出	△6,389	△27,544
投資有価証券の取得による支出	△33,264	△7,650
その他	△3,500	△7,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△503,612	△796,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,263,095	△713,752
配当金の支払額	△260,879	△558,890
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△277,207	△825,952
その他	△12,023	△15,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,813,205	△2,114,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,324	77,364
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△714,291	△1,589,467
現金及び現金同等物の期首残高	11,390,772	8,537,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,676,481	6,948,096

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式484,890株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が685百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,004百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	10,153,137	2,172,177	12,325,314
外部顧客への売上高	10,153,137	2,172,177	12,325,314
(業種別内訳)			
鉄鋼	5,248,548	228,631	5,477,180
その他	4,904,588	1,943,545	6,848,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,153,137	2,172,177	12,325,314
セグメント利益	2,664,819	252,467	2,917,286

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額

及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,917,286
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△773,441
四半期連結損益計算書の営業利益	2,143,845

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	11,112,988	2,456,684	13,569,672
外部顧客への売上高 (業種別内訳)	11,112,988	2,456,684	13,569,672
鉄鋼	5,949,899	275,419	6,225,318
その他	5,163,088	2,181,265	7,344,353
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	11,112,988	2,456,684	13,569,672
セグメント利益	2,509,584	325,158	2,834,742

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額

及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,834,742
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△837,184
四半期連結損益計算書の営業利益	1,997,558

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、自己株式の取得を下記のとおり実施いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするためであります。

2. 取得に係る事項の内容

① 取得対象株式の種類	当社普通株式
② 取得する株式の総数	1,500,000株(上限)
③ 株式の取得価額の総額	1,500,000,000円(上限)
④ 取得期間	2022年5月16日～2023年3月31日まで(約定日ベース)
⑤ 取得方法	東京証券取引所における市場買付け

3. 自己株式の取得の状況

上記、市場買付けによる取得の結果、2022年10月1日から2022年10月31日までに当社普通株式101,600株(取得価額144,197千円)を取得しております。